

NANTAN

# 119だより

NANTAN  
FIRE DEPARTMENT  
2015

No.



一日消防官(朝来市立竹田こども園)

## 災害状況



1月20日現在

- ・火災… 0件
- ・救急… 195件
- ・救助… 6件

## 主な内容

- 特集 **— はい、119です —** …… 2・3
- 特集** **火事ですか、救急ですか** …… 2・3
- ◆ 一日消防官・消防ふれあい祭り …… 4
  - ◆ 消防出初式・列車事故対応合同訓練  
秋の火災予防運動消防団との合同訓練  
阪神・淡路大震災メモリアル訓練 …… 5
  - ◆ 消防写真館・消防白書  
一人暮らし高齢者防火訪問・普通救命講習 … 6・7
  - ◆ お知らせ …… 8

# —はい、119です— 火事ですか、救急ですか



消防本部指令センター

南但消防本部管内における平成26年中の災害出動状況は、火災が32件、救急が3006件、救助が62件、その他が847件といった状況になっています。

そして、それらの災害の覚知方法として一番多かったのは、やはり119番通報によるものでした。一生に一度かけることがあるかどうかわからない119番通報ですが、今回は皆さんとともに通報要領や注意点について考えてみたいと思います。

## 119番通報の受信状況

平成26年中の119番通報の受信件数は3596件で、その内訳は火事や救急を始めとした緊急通報が2662件、通報訓練や間違い、問合わせなどといった緊急外通報が934件となっています。

また、携帯電話からの119番緊急通報は694件で、緊急通報全体の26・1%を占めています。

それぞれ通報区分を細かく見てみると、緊急通報の中には「火災通報」が23件、「救急要請」が2397件、「病院照会」が85件、「台風関連や火災・救急等の第2報等」が130件、「ガス漏れ検索や誤報等」が27件ありました。

一方、緊急外通報は「通報訓練」が347件、「間違い」が136件、「いたずら」が10件、「問合わせ」が52件、「その他」が389件といった状況でした。(表1参照)

## 119番通報要領

一分一秒でも早く来てほしい消防車や救急車。そのような状況の中で、それでは火災による被害を最小限に食い止めるために、また、病気やけがにおける救命率の向上や後遺症の軽減を図るために、実際119番通報する時にはどのような点に気を付ければ良いのかお話しします。

119番通報を受信した通信指令

【表1】 受信状況

区分	平成26年度中	
	件数	内携帯電話
総数	3,596	934
緊急通報	2,662	694
計	2,662	694
火災通報	23	11
救急要請	2,397	574
病院照会	85	35
台風関連・第2報等	130	62
ガス漏れ検索・誤報等	27	12
緊急外通報	934	240
計	934	240
通報訓練	347	18
間違い	136	69
いたずら	10	4
問合わせ	52	14
その他	389	135

員は、まず「火事ですか、救急ですか」と尋ねます。次に「場所はどこですか」と尋ねますので、この時「養父市」か「朝来市」か、そして「何町の何々区」か、番地は何番地か、世帯主の名前は誰なのかなど、必要なことを落着いてお話しください。発生場所を間違えたというような受信ミスは絶対に防がなければなりません。

その上で、火事の場合、何が燃えているのか、逃げ遅れやけが人はいないか。

また、救急の場合、どうしたのか、誰がいつからどのような状態になっているのか、持病はないか。交通事故などですと、どのような事故か、けが人は何人いるのか、どのようなけがか、車への閉じ込めはないかなどを、通信指令員の問いか

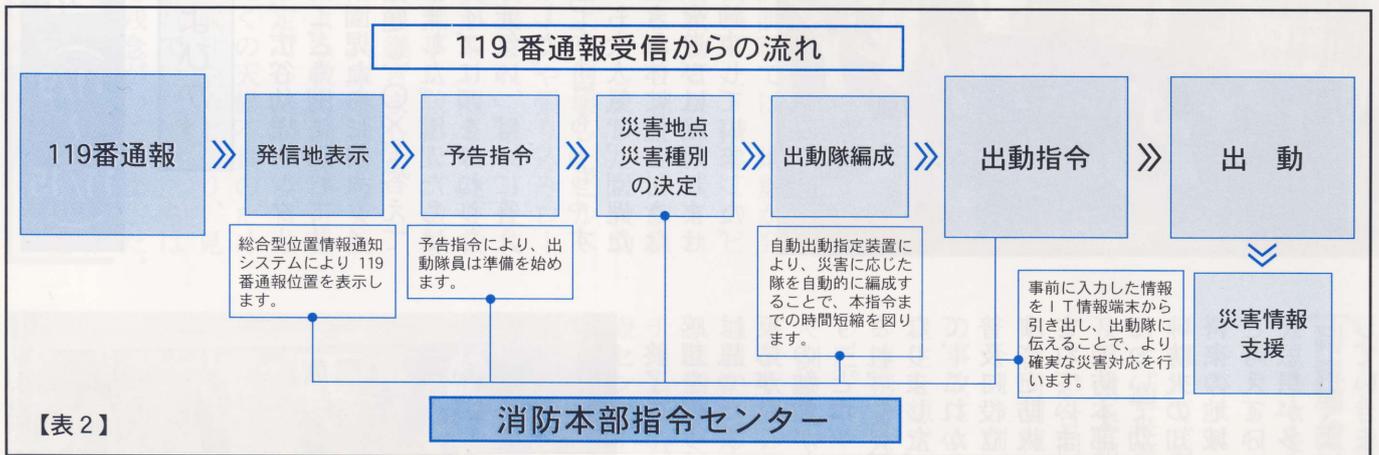
けに沿って、慌てずに落ち着いて簡潔にお答えください。  
そして最後に、通報者のお名前と電話番号をお尋ねしますので、必ずお伝えください。

### 119番通報受信からの流れ

改めて、119番通報の受信から出動までの流れを説明します。

まず、皆さんがおかけになる119番通報は、南但消防本部とつながって和山町にある南但消防本部の指令センターにつながります。（携帯電話による通報ですと、市の境界付近では隣接消防本部につながる場合があります。）  
消防本部に転送されます。受信と同時に位置情報通知システムにより同時に通報場所を特定すると、全署所に予告指令放送が流れ、出動隊員は準備を始め出動態勢を整えます。次に出動部隊を特定し本指令が流れ出動隊が出動しますので、出動までの時間短縮を図ることができます。  
また、事前に入力されている情報をIT端末から引き出し、出動隊に対し指令放送に合わせ指令書でも情報を伝えることにより、確実な災害対応を行わせることが可能となります。（表2参照）

このようにして、いち早く消防車等が現場へ到着することにより、各隊は的確な消防救急活動が実施できます。



【表2】

### CATV電話による119番通報の注意点

受信からの流れに続いて、CATV電話による119番通報における注意点についてお話しします。

システムがいくらか高機能であっても、119番通報を受信したからといって必ずしも100%通報場所を特定できるとは限りません。NTTの一般加入電話やIP電話などによる通報は、比較的正確な場所を把握しやすいのですが、携帯電話になると、通報場所と指令センターの地図表示に大きなずれが生じることが多々あります。しかし、何らかの地図表示はされま

などは、同じくそれ以上の情報が得られず、救急車を出動させることができなくなります。  
CATV電話による119番通報には以上のような危険性が伴いますので、極力一般加入電話かIP電話、または携帯電話をご利用ください。  
しかし、我が家からの119番通報の手段はCATV電話しかないんだといわれるご家庭においては、通信指令員にしっかりと内容が伝わるまで、絶対に電話を切らないように、くれぐれもお願いたします。

### 安心安全を確保するために

住民の皆さんの安心安全を確保する消防救急活動において、まず大切なのは災害の情報を得る119番通報の受信です。

正しく適切な119番通報により確かな状況・事故概要を把握でき、こそ、的確な活動ができるものと考えます。そのためには我々消防署員一同はより一層、通信技能の向上に努めます。

現在整備中である消防救急無線のデジタル化、また、緊急車両の位置がぶさに認識できる車両動態監視システム等の取扱いにおいても住民の皆さんの役に立てよう心がけます。

皆さんが、安全で安心して生活できるまちづくりを推進し、信頼される組織づくりを努めていきますので、どうか今後とも、消防業務に対しご理解ご協力をお願いいたします。

# 秋の火災予防運動

(11/9  
~  
11/15)

## 一日消防官による防火よびかけ

◆火災予防運動期間前の11月7日に、養父・朝来両市の女性消防団員4人に「一日消防官」をお願いしました。



4人の消防官とキャラクターたち

一日消防官をお願いしたのは、写真右から南奈津子さん、岸田明美さん（以上養父市）、安田洋恵さん、椿野直美さん（以上朝来市）です。両市キャラクターのやつぷー（養父市）とちやすりん（朝来市）もかけつけ、一緒に防火を訴えました。消防長から辞令交付を受

けた後、広谷幼児センターと竹田こども園に別れて訪問し、園児たちに防火クイズを出題し、○×で答えてもらいました。園児たちは防火クイズに頭をひねりながら、元氣いっぱい答えていました。

『やつぷー』も『ちやすりん』も大人気で、園児たちは大きな体に抱き付きながら「火遊びは絶対しません」と約束していました。



防火クイズ（広谷幼児センター）



防火クイズ（竹田こども園）

終了後、4人の皆さんに感想を伺うと「防火クイズは思ったよりも子供たちの反応が良くて、楽しんで防火の勉強ができたと思います」とホッとした笑顔で話され、「自分自身も勉強になりました。消防団員として、これからの火災予防の普及に役立てていきたいです」と防火の思いを新たにされていました。

消防本部では、火災予防について幼い頃から、正しい防火の知識を持つことが将来の地域の安全に役立つと考えています。今後も防火思想が多く地域の地域に浸透していくよう工夫し、継続していきます。

# 消防ふれあい祭り

11月23日、養父市上筒Yタウン駐車場で、「消防ふれあい祭り」を開催しました。

会場では、はしご車乗車体験や水消火器を使った消火の体験、また、消防車両や住宅用火災警報器等の防災物品の展示や自動体外式除細動器（AED）の体験コーナーなどを設けたほか、防火風船や防火ハンカチ等の広報物品を配布しました。途中、小雨が降るなどあいにくの天候となりましたが、多くのちびっ子たちが



はしご車の体験乗車



水消火器を使った消火体験

はしご車に乗車し、はしごの高さを体験しました。また、他のコーナーでは、消防車や救急車をバックに写真撮影する親子連れの姿や、訓練用の水消火器で使い方を体験する人など、多くの人たちとふれあうことができました。一日となりましたが、今後も消防ふれあい祭りを通して、少しでも防火・防災に関心を持っていただければと思っています。

## '15 消防出初式

1月8日、雪景色の中、新たな年のスタートを切って、平成27年南但消防本部「消防出初式」を実施しました。

式典では、南但広域行政事務組合広瀬栄管理者の式辞に続き、楠消防長が訓示を行い、安全で安心して暮らせる養父市・朝来市の実現と市民から信頼される消防に職員一丸となって取り組むことを誓いました。

観閲の部では、車両7台、職員40人が部隊指揮者の指揮により、小隊ごとに車両前に整列し、消防車両の赤色灯を点灯させ、観閲者による部隊観閲を受けました。



部隊観閲



一斉放水

消防訓練では、地震が発生し倒壊した5階建てのビルに要救助者が取り残されているという想定で、訓練がスタートしました。救助隊員により倒壊したビルへ斜めロープや張り込みロープが展張され、進入した救助隊員が取り残された要救助者を無事に救出し、救急隊に引き継ぎました。

また、兵庫県消防防災航空隊による救出訓練が行われる予定でしたが、当日はあいにくの天候不良のため急ぎよ取りやめとなり、見学に訪れていた園児たちはとても残念がっていました。そして最後に消防隊員が9線一斉放水を行いました。

## 列車事故対応合同訓練

11月6日、朝来市和田山町寺谷JR和田山駅構内材料線にて、消防本部、JR西日本、朝来警察署、八鹿病院及び朝来和田山医療センターが合同で、列車事故対応合同訓練を実施しました。今回の訓練は、踏切内での事故による多数傷病者の発生を想定し、関係機関との連携を大きな目的としました。

訓練は、JR職員による事故状況の把握と119番通報から始まり、消防本部は八鹿病院DMAT(災害医療チーム)及び、朝来和田山医療センターと協力し負傷者のトリアージと応急処置を実施、また、朝来警察署と協力し車両から要救助者の救出を行いました。



応急救護所での連携活動

## 秋の火災予防運動 消防団との合同訓練



合同火災防御

11月9日、八鹿町伊佐の株式会社オシスマップで養父消防署と養父市消防団八鹿方面隊が、また、山東町栗鹿の株式会社ハピネス朝来物流センターや和田山町久田和の久田和集会所で朝来消防署と朝来市消防団が火災防御合同訓練を実施しました。

訓練はそれぞれ建物火災が発生した想定で行われ、消防署のポンプ車やタンク車に対し、消防団が中継放水を行ったり、消防団員が消防署の資器材を使用し放水を行いました。

災害発生時には、消防団との連携が不可欠となります。訓練は緊密な連携のもと、スムーズに行われました。

## 阪神・淡路大震災 メモリアル訓練

1月17日に阪神・淡路大震災から20年を迎えるのに伴い、南但消防本部朝来消防署で、消防本部、朝来市消防団朝来支団、朝来警察署及び八鹿病院が合同で訓練を実施しました。

今回の訓練は「地震が発生し、家屋が倒壊、走行中の車両を押し潰したものだ」という想定で、防災機関それぞれが協力し救助活動を行い、救出した要救助者を八鹿病院DMAT(災害医療チーム)が医療処置を行うというものでした。

阪神・淡路大震災での経験と教訓を活かし、更なる地域防災力の強化を図る訓練になりました。



倒壊家屋での救助活動

# 消防写真館



**普通救命講習** (10月10日 朝来警察署)

地域の安全・安心を守るため、朝来警察署の皆さんが普通救命講習を受講されました。心肺蘇生法や AEDの取り扱いなど、真剣に取り組みました。



**消防教室** (10月8日 伊佐ふれあいの郷)

地域の皆さんが消火訓練を行いました。粉末消火器を使用し、実際に火を消す訓練でしたが、確実に消火されていました。



**避難訓練** (10月26日 和田山町和田山四町町内会)

台風による洪水を想定し、和田山四町による合同避難訓練が行われました。一次避難所である和田山老人福祉センターでは多くの住民が詰めかけ、避難者受け入れや支援物資配布など様々な訓練が繰り広げられました。



**消防教室** (10月19日 山東町越田区)

消火器取扱い訓練の後、消火栓取扱い訓練を行いました。消防団員指導のもと、平日の昼間に家におられる女性の方を中心に消火栓による放水を体験されました。

## 火災

※件数減少、損害額増加

火災件数は32件、損害額は598万1千4百円で、前年と比較すると、件数は4年の減少、損害額は210万1千円増加しています。

区分	総数	朝来署	養父署
総数	32 (36)	19 (23)	13 (13)
建物	14	10	4
林野	1	1	—
車両	2	—	2
その他	15	8	7
損害額(千円)	59,814	12,445	47,369

( )内は前年件数

## 救急

※件数、搬送人員ともに増加

出場件数は3006件、搬送人員は2731人で、前年と比較すると件数で77件、搬送人員で70人と増加しています。

区分	総数	朝来署	養父署	管外
総数	62 (75)	22 (38)	39 (37)	1 (0)
交通事故	42	16	26	—
火災	1	—	1	—
その他	19	6	12	1

( )内は前年件数

## 救助

※38人を救助

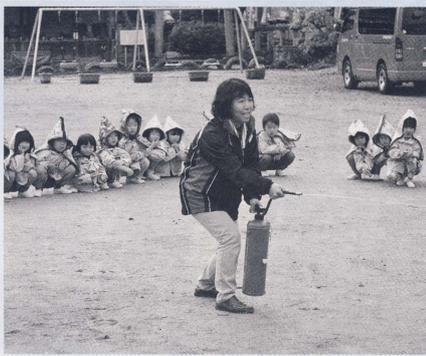
出場件数は62件で、そのうち内救助活動を行ったのは35人で、38人を救助しました。

区分	総数	朝来署	養父署	管外
総数	3,006 (2,929)	1,544 (1,495)	1,457 (1,428)	5 (6)
急病	1,763	970	793	—
一般負傷	506	235	271	—
転院搬送	261	94	167	—
交通事故	280	155	121	4
その他	196	90	105	1

( )内は前年件数

# 消防白書

平成26年  
1月～12月



**消火訓練** (11月27日 八鹿幼稚園)

園庭に避難した園児達が見守る中、先生が消火訓練を行いました。先生は園児達の手本となるように真剣に取り組みました。



**消火訓練**

(11月20日 ドリームワークス)

消火器の使い方を習った後、実際に水消火器で訓練をしました。皆さんの確信的を倒されていました。



**避難訓練** (11月19日 建屋小学校)

地震の後、火災が発生した想定で避難訓練を行いました。皆さんが「おはしも」の合言葉を守りながら避難しました。



**年末特別査察**

(12月12日 イオン和山ショッピングセンター)

年末を控え、大型小売店舗の特別査察を実施しました。避難経路や消防用設備等の確認を行い、防火管理の徹底を指導しました。



**避難訓練** (12月1日 大屋中学校)

地震が発生した想定で避難訓練を行いました。身近にある教科書等を利用し、頭を守りながら避難しました。また、避難訓練の後には煙を充満させた教室の中に入り、煙の恐ろしさも体験しました。



秋の火災予防運動の一環として11月、消防本部では「二人暮らし高齢者防火訪問」を実施しました。養父消防署では、4日間にわたり養父市社会福祉協議会、関西電力株式会社と合同で実施しました。内容は、ストーブなどの暖房器具の使用状況、コンロ等の状況、喫煙の状況、そして、住宅用火災警報器の設置等について点検し、防火指導を実施しました。

また、朝来消防署でも、朝来市消防団と合同で防火訪問を実施しました。なお、養父消防署では春の火災予防運動時にも実施します。ご協力お願いします。



一人暮らし高齢者  
防火訪問



普通救命講習

これは、(一財)日本防火・防災協会の後援事業で婦人防火クラブ員を対象に応急手当の普及啓発を目的に、8月から3回にわたり普通救命講習を実施したものです。その内容は、心肺蘇生法とAEDの使用、止血法その他の応急手当等の3時間の講習で、参加者全員が職場や家庭で万が一の時のために冷静に対応できるように、有効な人工呼吸と胸骨圧迫の方法を習得されました。

100人達成  
普通救命講習  
(養父市婦人防火クラブ)

# 森の消防署



## NANTAN 119だより

## INFORMATION

### お知らせ

#### ◆栃原婦人消防隊 兵庫県知事表彰受賞

朝来市生野町栃原の栃原婦人消防隊が昭和38年結成以来50年にわたり、毎年、計画を立てて水利の見回りや、消火栓及び小型ポンプを使用した訓練、夜回りなどを実施し、区民の生命、身体及び財産を火災から守るため活躍した功績が認められ、優良自主防災組織として、兵庫県知事表彰を受賞されました。



▲栃原婦人消防隊

#### ◆表示マークの交付

昨年8月1日から、旅館・ホテルに対して新表示制度が開始されました。「ファーストホテルいづみ旅館」と「ホテル山豊」の2施設から申請があり、12月1日に表示マークの交付を行いました。



▲ホテル山豊



▲ファーストホテルいづみ旅館

#### ◆養父消防署耐震改修工事

養父消防署では、平成26年6月から庁舎の耐震化工事を行っていましたが、12月16日に工事が完了し業務を開始しました。



▲養父消防署

#### ◆山火事防止運動

消防署並びに消防団では、4月の一カ月間、山火事防止運動を展開します。

#### ◆春の火災予防運動

3月1日から3月7日までの7日間、全国一斉に春の火災予防運動を実施します。朝来消防署、養父消防署ともに火災ゼロに向け、万全の態勢で臨みます。



3月1日～3月7日

#### 主な行事予定

- 消防訓練 生野・朝来・大屋地域
- 立入検査等 病院・福祉施設の査察
- 消防教室 学校、事業所、各地区
- 広報活動 防火ポスターの配布
- 防火研修 病院・福祉施設

### 編集手帳

昨年11月23日7時、自宅でテレビのニュースを見ていました。その映像は、ヘリコプターから山村を中継していました。最初、住宅が見えましたがはつきり見えません。何があったのだろうか。大きな火災が発生し、大勢の人が亡くなったのだろうか。次の映像は、多くの建物が壊れたり傾いたりしている映像です。そう、竜巻か、立派な建物が簡単に壊れています。気の毒な、どこで発生したのだろうか。すると「長野県北部地震震度6弱」と字幕が流れて、初めて地震が発生したことを知りました。前日早く寝たので知らなかったのです。翌日の新聞には「死者ゼロ住民たちによる必死の救出劇」と出ていました。

来月東日本大震災から4年、地震に備えるには住民同士のつながりを大事にしましょう。

#### NANTAN 119だより第6号

2015年2月1日発行 (年3回発行)

- 発行・編集 南但消防本部予防課 兵庫県朝来市 和田山町枚田436-1
- TEL 079-672-0119
- FAX 079-672-5046

南但消防本部